クビナガリュウ
ホッピー

ホッピーだより

第290号

平成21年1月1日（2009/1/1）

むかわ町立穂別博物館　054-0211　北海道勇払郡むかわ町穂別80-6　0145-45-3141
http://www10.plala.or.jp/mukawa/soshiki/hakubutsukan/

ウシとクジラの、意外な(!?)関係

～　今年は、牛年（丑年）　～

平成21年は、丑年（うしどし）です。ウシは、牧場でのんびりと草を食べ、「モォー」と鳴いていますよね。実はこのウシ、クジラととても近い関係にあることを知っていましたか？

ウシは、シカ、ヒツジ、キリン、ラクダ、カバなどとともに、偶蹄類（ぐうているい）と呼ばれます。「偶数（２か４）の蹄（ひづめ）をもつ動物」という意味で、それに対して良く似たウマやサイ、バクは、奇蹄類（きているい：「奇数〈１か３〉の蹄〈ひづめ〉をもつ動物」）と呼ばれます。偶蹄類は草原を走るのに適した体をして、オーストラリアと南極大陸以外の全世界に分布し、草を食べて生きています。中でもウシは、最も進化したグループに入ります。

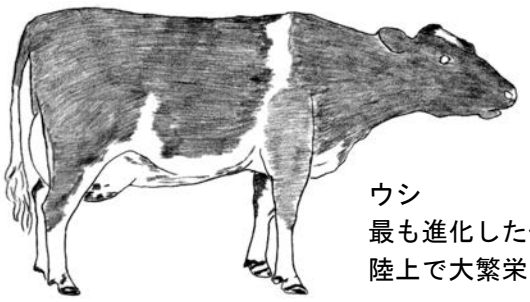
一方、クジラはいつも海にいて、体は魚のような流線型で、前足や尾はヒレになり、そして後足はなくなりました。泳ぎながら息つぎをしやすいように、鼻のあなは頭のてっぺんにできました。ハクジラ類（イルカも）は魚やイカなどを捕まえ、ヒゲクジラ類は小さな動物プランクトンなどを食べます。このようにクジラは、水中生活にとても適した体をしています。

しかし、クジラは哺乳類なので、その祖先は陸上を歩いていました。クジラの祖先についてはいくつかの考えがありますが、最近の遺伝子の研究では偶蹄類に近く、中でもカバに最も近いという結果が出されています。一番近いのがカバという点については疑問の意見もありますが、化石で見つかった古いクジラの足首の骨は、偶蹄類と良く似た特徴を示しています。

そうです。最初のクジラには、４本の足がありました。今から約5,000万年前（新生代古第三紀始新世）のインドーパキスタンには、浅い海が広がっていました。ここに生きていたパキケタス類は、全長約２m、頭が少し大きめで尾が長く、陸上の川の中で生活し、魚をとらえていたと考えられています。足首の骨は偶蹄類と、耳の骨にはクジラと同じ特徴があります。この海はやがて、インドがユーラシア大陸にぶつかってヒマラヤ山脈ができたために持ち上げられて陸地となりました。日高山脈ができたことで海の底が持ち上げられた穂別とそっくりですね。

そのようなわけで、ウシとクジラは、とても近い関係にあるのです。　　（学芸員　桜井）

ミンククジラ（現生）
海を泳ぐ哺乳類。
（博物館展示室）

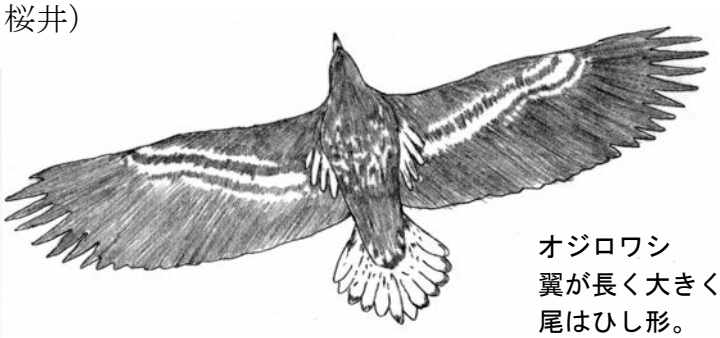

ウシ
最も進化した偶蹄類。
陸上で大繁栄。

オジロワシ？　～空高く舞う、大きなワシ～

先日、博物館の近くで、頭のすぐ上を舞う大きなワシ類の姿を見つけました。良く見かけるトビ（トンビ）のように輪をえがいて飛んでいましたが、翼は長く大きくて真っすぐにのび、尾は大きなひし形をして時々白く光って見えました。図鑑で調べると、オジロワシとオオワシが似たような姿をしていますが、オオワシで目立つ黄色の大きなくちばしや翼の前部の白色が見えなかったため、どうやらオジロワシのようです。オジロワシは翼を広げると２ｍを超え、北海道で見られる鳥では、オオワシの次に大きなワシです。どちらも冬に北方からやって来る印象がありますが、オオワシは少数ながら道内で一年中すごすものもいるようです。穂別地区や鵡川地区では、冬ー春にかけて、以前にも見たことがありました。

すぐ近くを舞っていたオジロワシは、見ている間にどんどん空高く上り、あっという間に小さくなってしまいました。普段は、トビよりもずっと高い空を舞っているそうです。鵡川沿いにえさを探しながら、穂別まで上ってきたのでしょうか。本格的な冬の訪れを教えてくれたような気がしました。　（学芸員　桜井）

トビ
体験館駐車場
上空にて



オジロワシ
翼が長く大きく、
尾はひし形。

冬の企画展「身近な自然に学ぼう」（マイミュージアム19）

主催　ネイチャー研究会inむかわ

平成21年１月24日（土）-２月22日（日）

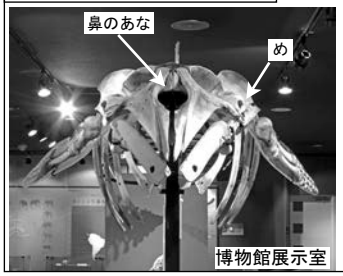
アオサギを中心とした干潟の鳥たち
河口干潟について（鵡川河口、人工干潟）
サクラソウの保全
フラワーソンinむかわ

穂別博物館　特別展示室（見学無料）

アオサギ
撮影：門村徳男
（ネイチャー研究会
inむかわ）

１/12（成人の日）は、むかわ町民 は 無料 で 見学 できます

むかわの化石や生き物



ミンククジラ（全身骨格）

現在の海を泳いでいるミンククジラの骨を、前から見たところです。鼻のあなは頭の真ん中にあります。泳ぎながら息をしやすいようにこの場所に移動したようです。クジラの「潮吹き」は、実は鼻息です。鼻からはいた息が白く見えています。

２００９年１月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

１月のこよみ

・1/1～5は、年始の休館日です
・1/13、14は、祝日の振替です
・1/19、26は、通常の休館日

■：休館日
○：町民無料入館日

ウシなど偶蹄類は草を食べますが、クジラ類は魚やイカなどを食べます。同じ祖先から誕生しながら、いつの間にか食べ物が違ってしまいました。その違いは、クジラ類が水中生活を始めたことに大きく関わっているとも言われています。（さ）